



平等と公平について

11月の最後の週というのにまだ暖かい日があり、暖冬との長期予報の正しさを実感しています。学校では、延期されていたS中祭が日程を分散して行われ、生徒たちの授業の成果や合唱の素晴らしい歌声が披露されました。3年生は進路に向け緊張感のある生活へと移りつつあります。1・2年生は生徒会役員選挙に代表されるよう、世代交代で部活動や学校行事での新しい自分の役割を全うしようと努力を重ねている毎日です。

今年度も、「学校教育診断アンケート」を行う時期となりました。保護者の皆様にはお手数ですが、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

本年度のアンケート実施に向け内容を確認する中で、教職員向けの設問の中に「どの生徒にも平等に接し、一人一人の生徒理解に努めていますか」というものがありました。今年度から「平等」を「公平」に変更いたしました。

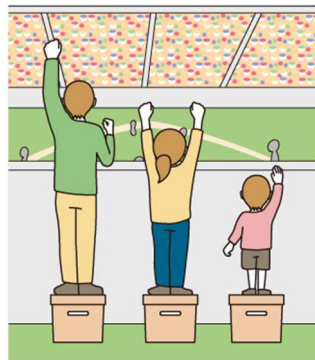
平等と公平は似たような意味合いで使われることが多いですが、広辞苑によりますと、

【平等】「かたよりや差別がなく、すべてのものが一様で等しいこと。」

【公平】「かたよらず、えこひいきのないこと。」

とあります。どういう違いかがわかるイラスト（野球観戦）がありますので、ご紹介します。

平等→



公平→



いかがでしょうか。

私たち学校では、同じ手当てをする平等よりも、一人一人が同じ状況になれるよう公平になるように心がけて生徒に接することが多いように思います。とかく平等を求められることが多い昨今ですが、教育の現場では公平性に重きを置いて生徒たちを育てていきたいと考えています。

平成28年度から障がい者差別解消法によって「合理的配慮」という概念が社会に浸透してきました。この考え方は障がい者のみに当てはめるものではなく、社会全般にあるバリアをなくすために人々がどのようなことに注意して行動すればよいかを教えてくれています。

今後も下福田中学校は、保護者、地域の皆様とともに、未来を担う子どもたちのためにバリアのない地域社会の創造のお手伝いをしてまいりたいと考えております。

(校長 竹中 崇)

1年生 車いすバスケットボール体験講座

11月24日(金)に1学年では、「障害者アスリートがスポーツや生活のことなどを直接話し、生徒が障害者アスリートとともにスポーツを体験することで、競技性の高さや面白さを体感し、障害者と健常者の差異は生活方法だけであることを認識し、自分を含めすべての人が無限の可能性を秘めている存在であることに気づかせる。」ことを目的に、車いすバスケの体験講座を行いました。生徒たちはとても真剣に話を聞き、また、体験の時には楽しく難しさを実感していました。今後の生活にとっても大きな影響を与える経験ができました。



今後の予定

| | | | |
|-----|----------|---------|------------|
| 12月 | 1日~7日 | (金)~(木) | 三者面談 |
| | 7日 | (木) | 給食費集金 |
| | 8日 | (金) | 2年 学年集金日 |
| | 11日 | (月) | 3年 午前授業 |
| | 14日 | (木) | 生徒会役員選挙・投票 |
| | 15日 | (金) | 3年 午前授業 |
| | 20日 | (水) | 給食最終日 |
| | 21日 | (木) | 大掃除 |
| | 22日 | (金) | 終業式 |
| | 25日~1月8日 | | 冬季休業 |